

報道機関各位

保育園給食における異物混入事案について

昨日、北九州市内の保育園の給食で提供した離乳食のおかゆに、異物(容器片:長さ 1 cm 程度)が混入していたことが判明したため、報告するもの。

1 概要

(1)発生日

令和6年8月7日(水) 11時55分頃

(2)発生場所

社会福祉法人 高槻会
大蔵保育園(八幡東区祝町一丁目13番3号)

(3)対象児童

0歳児クラス6名(うち1名(0歳12か月)の便より容器片を発見)

(4)発生の状況

- ・大蔵保育園で「離乳食のおかゆ」を耐熱ガラス製の炊飯器用おかゆ調理容器に入れて調理し、園児6名に提供した。
- ・片付けの際、調理員が調理容器の一部が欠けていることに気づいた。
- ・欠けた破片を探すが見つからず、園児が食べてしまった可能性があるため、食事を提供した6名の園児の保護者に保育園から経緯等の説明を行った。
- ・本日(8月8日)朝、1人の園児(0歳12か月)の保護者より、「こどもの便から容器片が見つかった」との報告が保育園にあった。

(5)異物について

長さ約 1 cm程度の容器片

(6)健康被害の有無

容器片が見つかった園児は、病院受診後、経過観察中であるが、他の園児も含め、今のところ健康被害は確認されていない。

2 混入経路

炊飯器の中で、耐熱ガラス製の炊飯器用おかゆ調理容器でおかゆを調理して提供した際、容器が破損しておかゆに混入した可能性が高いと考えている。

3 原因

給食の提供において、容器が破損する可能性がある金属スプーンを使用したこと、かつ、容器に破損等がないかの確認を行っていなかった。

4 今後の対応

(1)給食調理室等の点検

当該保育園に対しては、調理機械・器具の一斉点検を実施し、調理器具等の破損がないか、使用方法は適切か、などの確認を徹底する。

8月8日 11時 30分から、当課において立入調査を実施し、調理器具等の安全性の再点検や適切な使用方法による調理を実施するよう注意・指導を行った。

(2)すべての幼児教育・保育施設への緊急事務連絡

8月8日付で、すべての幼児教育・保育施設に対して、安全に十分な注意を払い、給食を提供するよう注意喚起を行った。

【問合せ先】子ども家庭局こども施設企画課

(課長)伊藤、(係長)磯田 TEL:093-582-2413

容器の破損状況

